

新JIS表示

NEW
SuperLandy
EX300/EX310H

排出ガス対策型エンジン搭載機

剛

腕



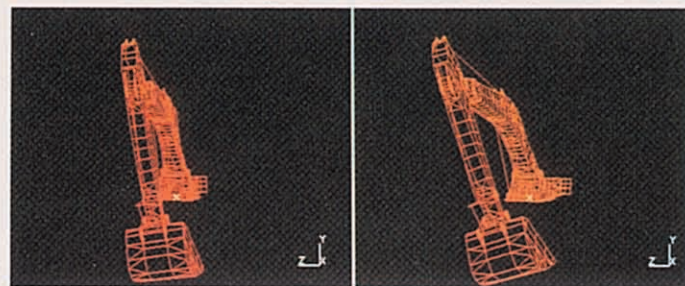
HITACHI

大地に光る剛腕の力。^{パワー}

大地がある。剛腕がいる。
春の光にしなやかに。
夏の夕立のなかで凛々しく。
冬の霜をたくましく踏んで。
その姿は、
より強く厳しく、また優しく。
大気に息づく、
SuperLandy EX300。

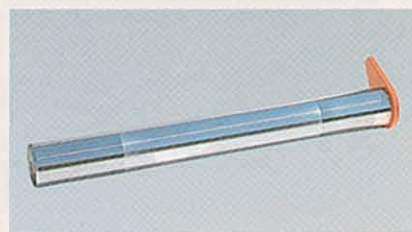


さらなる調和を求めて。 標準仕様機。



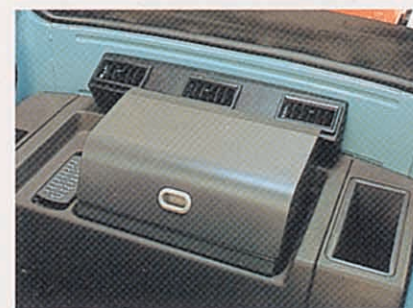
■フロントを強化、信頼のハードワーク

ブーム、アームは、ねじれに強い隔壁構造を採用。応力の集中しやすい部分には、材質の強化をしました。さらに、重掘削やブレーカなどに必要な高耐久性も追求しました。

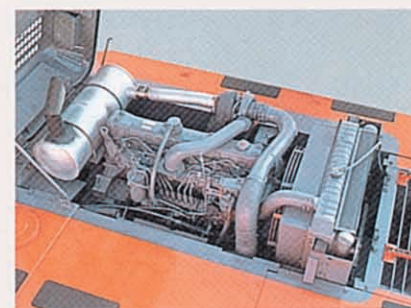


■耐摩耗性に優れたブームフットピン

大荷重に見合ったピンサイズを採用。硬質クロームメッキ処理で耐摩耗性が向上しました。



■外気導入型エアコンとホット&クールボックスを標準装備



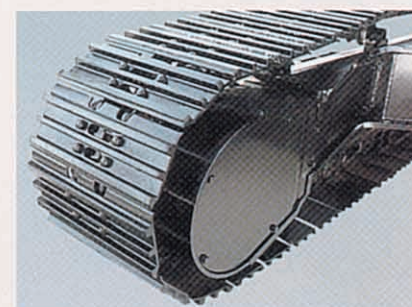
■排出ガス対策型クリーンエンジンを搭載

建設省の直轄工事では、一般工事用は平成9年度より、排出ガス対策型建設機械の使用が義務づけられます。



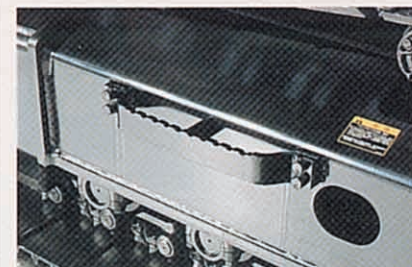
■強化型センターフレーム

上下の板厚をアップしました。



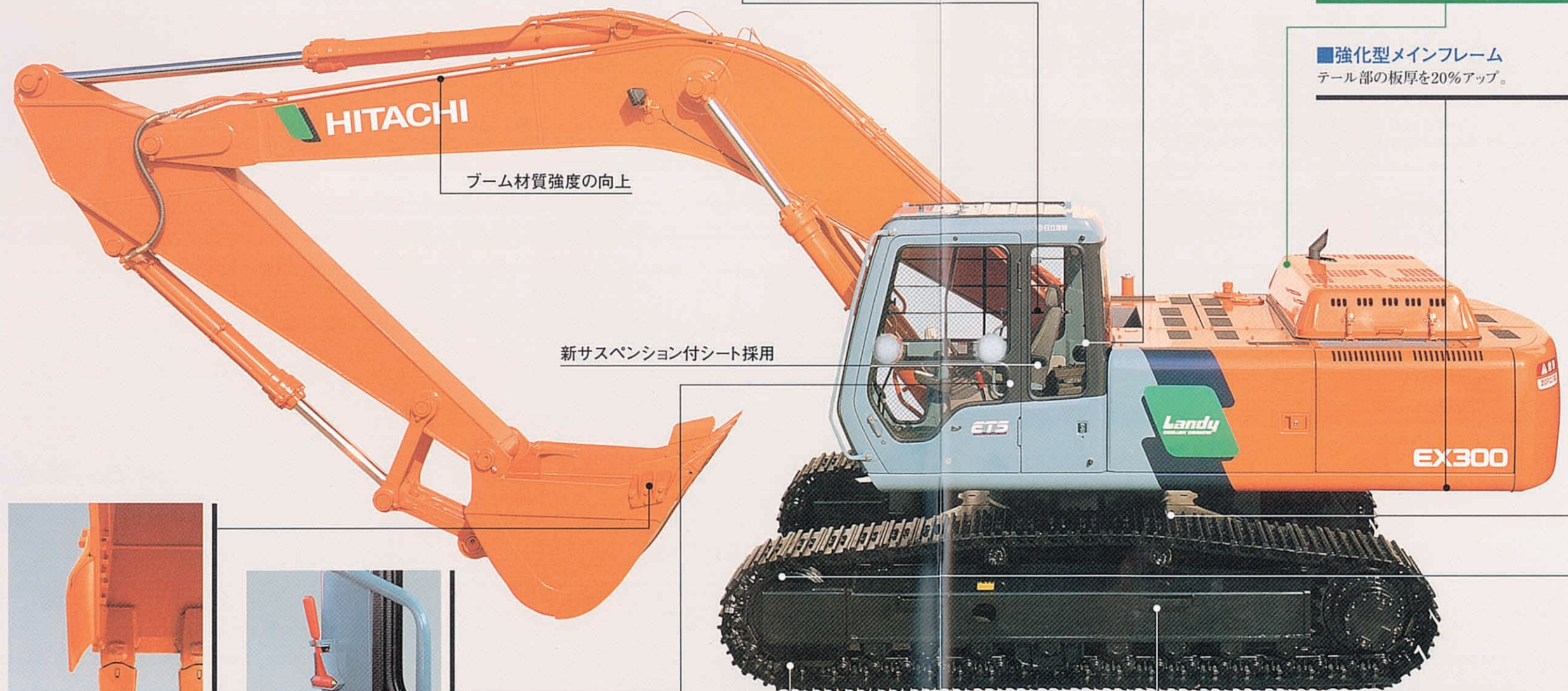
■走行モータ丸形カバー

頑丈で変形しにくい形状にしました。



■強化型サイドステップ

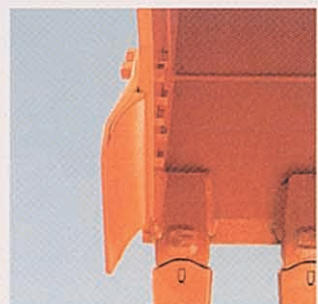
頑丈で変形しにくいボルト付けの強化型ステップを採用しました。



ブーム材質強度の向上

新サスペンション付シート採用

アイドラブラケット強化



■アゴ付サイドカッタ

鋳鋼製で耐久性、耐摩耗性に優れ、バケット側板の摩耗を低減。現場で威力を発揮します。



■緊急脱出用ハンマ

非常時の脱出用にハンマをキャブ内に設けました。

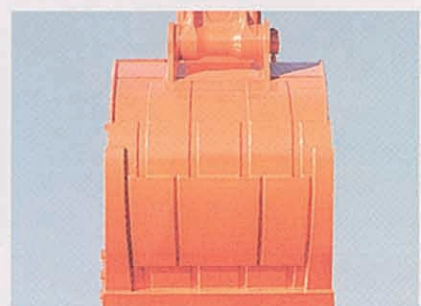
きわだつ強靱さで応える。 H仕様機(重掘削仕様機)。

■標準仕様機をさらに強化した H仕様機

採石・砂利採取作業など、厳しい作業に対応できるよう、標準仕様機をベースにフロントと足回りを強化しました。

■ヘコミ防止 プレート、角材

掘削中に岩石を巻き込んだとき、アーム下板の損傷を防止します。



■二重底板ウェアプレート

材質を強化し、ウェアプレートを追加。耐摩耗性を向上しました。



■サイドシュラウドを強化

サイドシュラウドを大型強化。バケット側板の摩耗を低減します。

■**カッティングエッジ部の板厚アップとシュラウドの大型化**
カッティングエッジ部の板厚をアップしました。シュラウドの大型化により、大きな耐摩耗性が得られます。

■バケット爪の大型化

大型のスーパーコンカルタイプの爪を採用し、ハードな作業に応えます。

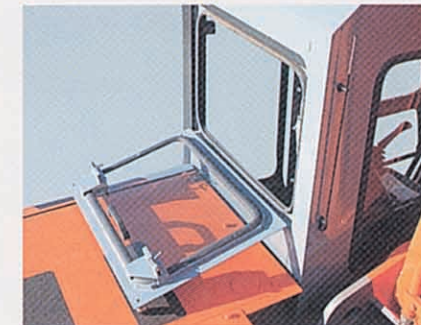
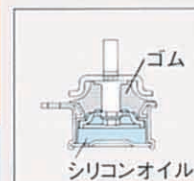
■前面ガラス飛散防止フィルム

標準キャブの前面ガラスは、飛び石などによる被損ガラスの飛散防止フィルム付きです。



■頑丈なヘッドガード一体型加圧式キャブ(オプション)

落下物からオペレータを守るヘッドガード付キャブをオプションで用意しました。ヘッドガードとの一体化および6点支持「液体封入式防振ゴム」構造により耐久性と耐震性が向上しました。



■緊急脱出用窓

キャブ後窓は、非常時の脱出口として使用できます。

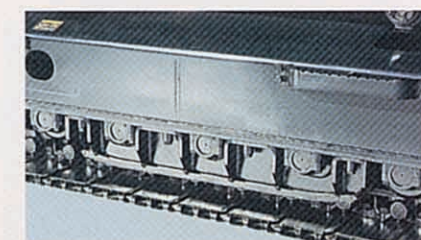
■増量カウンタウエイト

カウンタウエイトを0.5t増量し、安定性をさらに向上。1.0t増量カウンタウエイトをオプションで用意しました。



■強化型アンダーカバー

上部旋回体のアンダーカバーの板厚をアップ。走行中の突き上げによる油圧機器などの損傷を防止します。



■H用トラックセンタガード

下ローラ3個にまたがる大型トラックガード。脱輪防止、下ローラの保護、メンテナンスが容易です。フルトラックガードもオプションで用意しています。

*写真はヘッドガード一体型加圧式キャブ(オプション)付です。

充実の性能、 信頼のマシン。



居住性

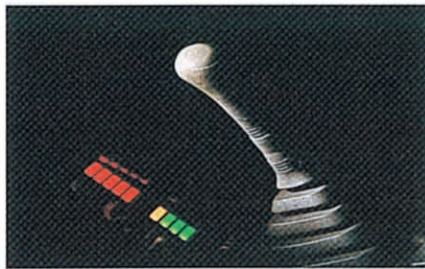
■振動の少ないソフトな乗り心地

キャブの支持部にダンパ効果の高い「液体封入式防振ゴム」を採用。キャブベット部は構造を工夫、板厚も上げ剛性をアップ。ソフトな乗り心地を実現しました。座り心地がよく最適ポジションが得られるよう、座面角度や高さ調整など7カ所におよぶ調整機能をもたせた新サスペンション付シートを採用しました。



●シート背面にマガジンポケット

作業性・操作性



■大作業量を産む作業性能

エンジンやポンプを効率よく制御、現場や作業状況に応じたパワーやスピードが得られるE-P制御を搭載。また、休車時の省エネにオートアイドル制御を採用しました。

■快適な応答性

操作レバーの微操作性とブームの上下の動きがマッチング。一般土木や圃場整備工事などで、土羽打ちなどの作業に威力を発揮します。また、スイッチを押すだけで、掘削性能がアップ。ここ一番のパワーが必要なときに威力を発揮するパワーディギングを装着しました。



■用途に合わせた 作業モードセレクト新設

重掘削、積込みに「標準作業」、掘削～軽作業に「軽掘削」、ゆっくり作業に「緩操作」、つり作業などに「微操作」の4モードから最適なモードがワンタッチで選べます。

■球面モニタ

モニタは見やすい球面。スイッチはホコリに強い樹脂モールドタイプ。操作はワンタッチです。



安全性



●シートベルト

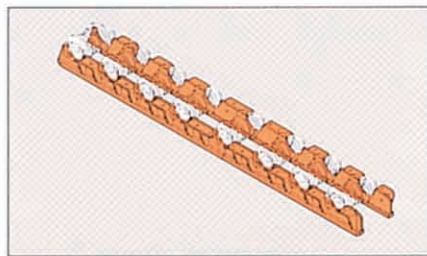
耐久性



●大型トラックリンク

■大型トラックリンク

ストラット(支柱)付。ブッシュ内への異物侵入を防ぎ、内部摩擦を抑えるピンシール入りです。

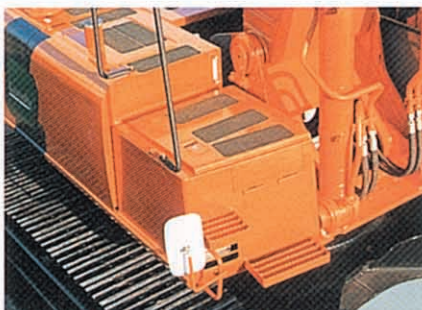


●フルトラックガード(オプション)

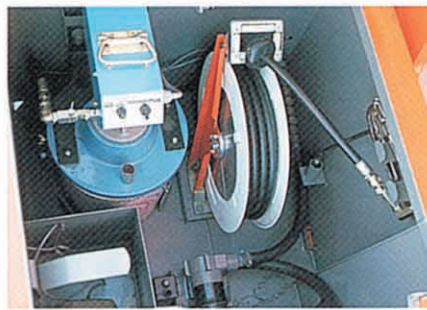
メンテナンス

■燃料給油ストレーナの大型化

ガン給油がやりやすくなりました。また、フロートタイプレベル付で給油量の確認がしやすくなりました。



●大型工具箱

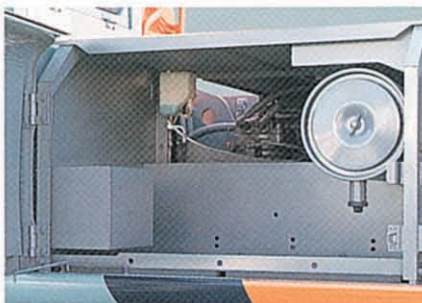


●ホースリール付電動式グリスガン(オプション)と燃料給油ポンプ(オプション)

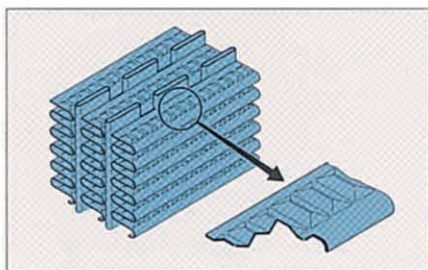


■ラジエータの清掃が容易に

防虫ネットの脱着を容易にし、ラジエータとオイルクーラのすき間にエアノズルを入れやすい構造としました。



●ユーティリティスペース



■目詰まりしにくいラジエータ

目詰まりしにくく、メンテナンスが容易な、ウェーブフィンラジエータを採用しています。



EX300

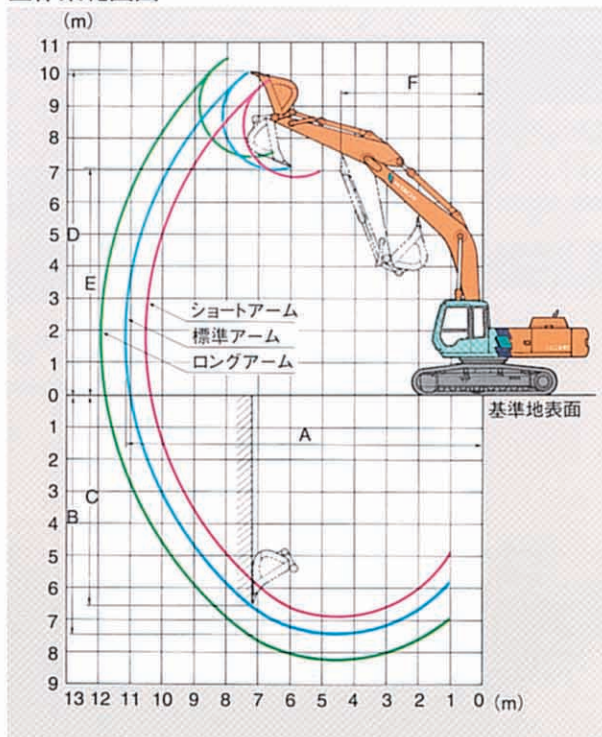
仕様

			EX300-3C	EX300LC-3C
仕 様				
運転質量	kg		29,400	29,900
機体質量	kg		22,500	23,100
標準バケット容量				
山積容量	新JIS	m ³	1.40	
	旧JIS	m ³	1.20	
平積容量		m ³	1.0	
標準シュー幅		mm	600グローサシュー	
性 能				
接地圧		kPa(kgf/cm ²)	60(0.61)	57(0.58)
旋回速度		min ⁻¹ (rpm)	12.0	
走行速度 高／中／低		km/h	5.5／3.9／2.6	
登坂能力		%(度)	70(30)	
最大掘削力				
新JIS	バケット	kN(kgf)	204(20,800)	
	アーム	kN(kgf)	140(14,300)	
旧JIS	バケット	kN(kgf)	178(18,100)	
	アーム	kN(kgf)	134(13,700)	
エンジン				
型 式			いすゞ A-6SD1T	
形 式			ターボ付直接噴射式	
定格出力		kW/min ⁻¹ (PS/rpm)	162／2,000(220／2,000)	
総排気量		L	9,839	
油圧装置				
油圧ポンプ形式			可変容量形ピストン式×2 歯車式×1	
主リリーフ弁セット圧		MPa(kgf/cm ²)	29.4(300)／34.3(350)走行	
旋回油圧モータ形式			定容量形ピストン式×1	
走行油圧モータ形式			可変容量形ピストン式×2	
駐車ブレーキ形式(旋回・走行)			機械式	
油類の容量				
燃料タンク容量		L	510	
作動油タンク容量		L	265／154(基準レベル)	
エンジンオイル交換量		L	35.0	

<注> ●単位は、国際単位系によるSI単位表示。()内は、従来の単位表示を併記したものです。

●バケット容量と最大掘削力は新JISと旧JISを併記しました。

作業範囲図



作業範囲

単位:mm

	EX300-3C / EX300LC-3C		
	ショートアーム 2.66m	標準アーム 3.2m	ロングアーム 4.0m
A. 最大掘削半径	10,570	11,100	11,860
*B. 最大掘削深さ	6,840	7,380	8,180
*C. 最大垂直掘削深さ	5,610	6,480	7,360
*D. 最大掘削高さ	9,850	10,220	10,600
*E. 最大ダンプ高さ	6,810	7,120	7,490
F. フロント最小旋回半径	4,540	4,450	4,380

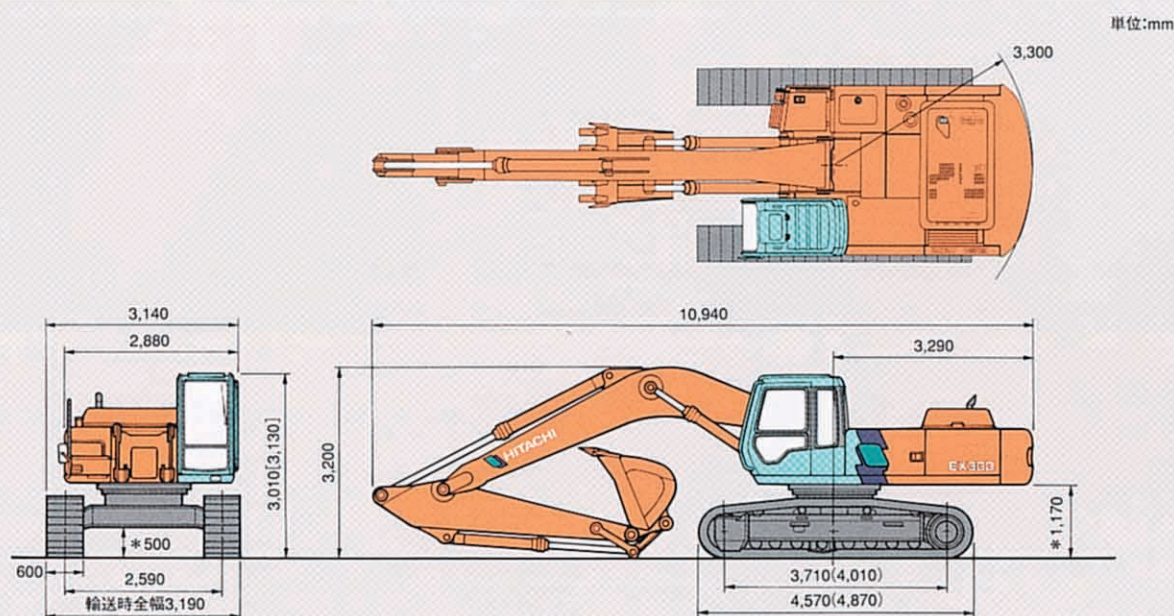
<注> *の寸法はシューラグ高さを含まず。

■各種バケット

○:一般掘削 ○:軽掘削 □:精送作業用 ●:岩掘削用 ×:使用不可

	容量(m³)		幅(mm)		爪数(本)	EX300-3C/EX300LC-3C		
	山積 新JIS(旧JIS)	平積	サイドカッタ 無し	サイドカッタ 含む		ショートアーム 2.66m	標準アーム 3.2m	ロングアーム 4.0m
ホウバケット	1.15(1.0)	0.85	1,100	1,230	5	○	○	○
	1.40(1.2)	1.0	1,280	1,410	5	○	○	○
	1.62(1.4)	1.16	1,460	1,600	5	○	○	×□
	1.86(1.6)	1.32	1,640	—	5	□	×	×
補強バケット	1.40(1.2)	1.0	1,280	1,410	5	○	○	○
岩用バケット	1.15(1.0)	0.86	1,160	—	5	●	●	○
リッパバケット	0.90(0.8)	0.7	1,010	—	3	●	●	×
一本爪リッパ	—	—	—	—	1	●	●	×
クラムシェルバケット	0.6		940(センタープル式)		8	○	○	○
	1.0		975(シェルブッシュ式)		9	○	○	○

■寸法図



<注> ●標準ホウバケット1.40m³、標準アーム3.2m³、標準シュー600mm装着時。
 ●()内はEX300LC-3Cの数値です。
 ●[]内はヘッドガード一体型加圧式キャブ装着時のものです。
 ●*印の寸法はシューラグ高さを含まず。

■各種シュー

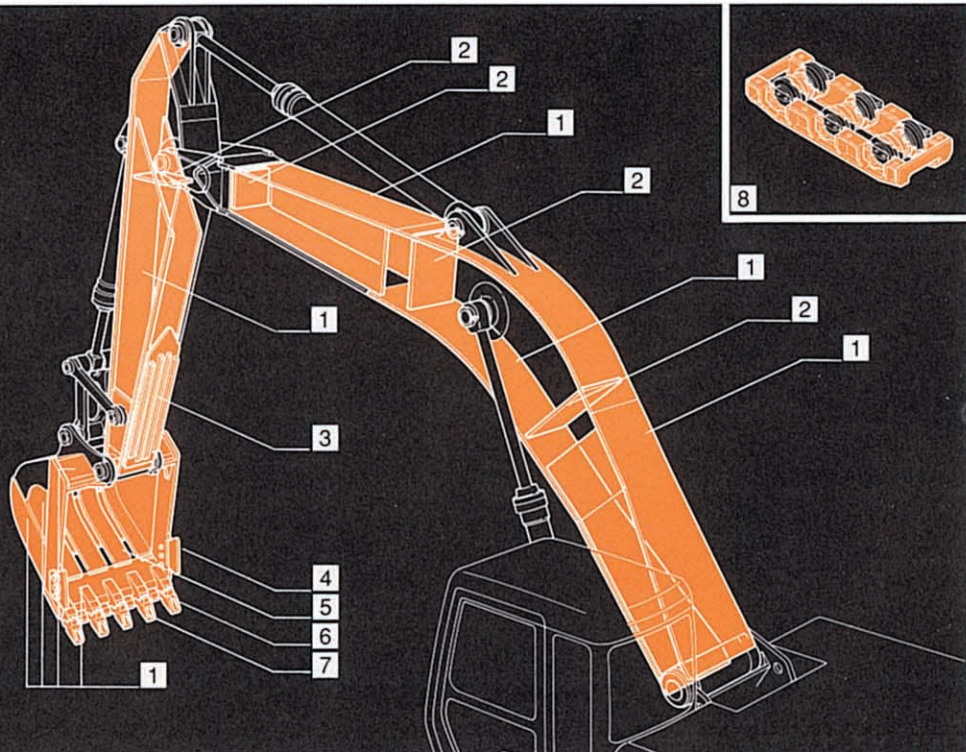
シュー幅	mm	標準600グローサシュー	800グローサシュー	600フラットシュー	910三角シュー	
仕 様	クローラ全幅	mm	3,190	3,390	3,190	3,500
	接地圧	kPa(kg/cm ²)	60/57(0.61/0.58)	46/44(0.47/0.45)	62/59(0.63/0.60)	41/39(0.42/0.40)
用 途		一般土質用	軟弱土質用	舗装路用	軟弱土質用	

<注> 接地圧は標準ホウバケット1.40m³、標準アーム3.2m装着時のEX300-3C/EX300LC-3Cの値を示し、単位は国際単位系によるSI単位表示。

()内は、従来の単位表示を併記したものです。

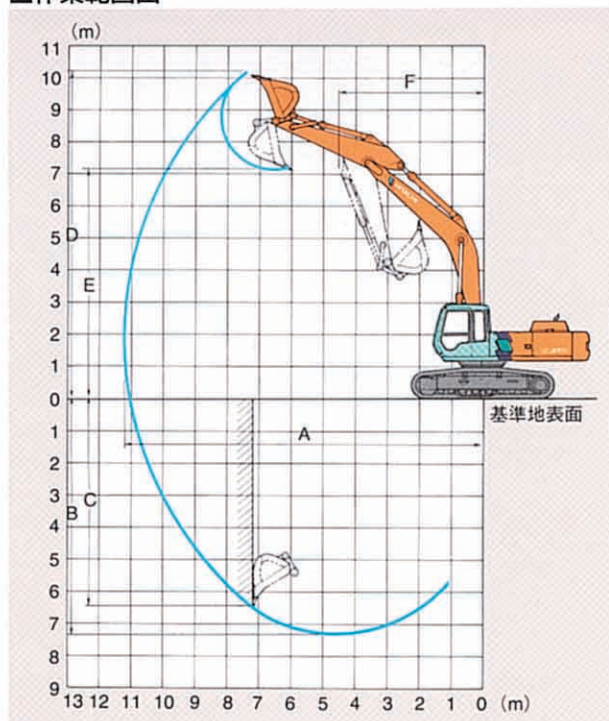
EX310H

- 1 板厚アップ
- 2 隔壁
- 3 ヘコミ防止プレート、角材
- 4 サイドシュラウド
- 5 二重底板ウエアプレート
- 6 カuttingエッジシュラウド
- 7 スーパーコニカル爪
- 8 H用トラックセンタガード
- 強化型アンダーカバー
- 前面ガラス飛散防止フィルム



<注> 標準機に対し強化されている部分です。(2を除く)

作業範囲図



仕様

			EX310H-3C／EX310LCH-3C	
仕 様				
運転質量		kg	30,600	31,100
機体質量		kg	23,200	23,800
標準バケット容量				
山積容量		新JIS m ³	岩用1.38	
		旧JIS m ³	岩用1.2	
平積容量		m ³	岩用1.0	
標準シュー幅		mm	600グローサシュー	
性 能				
接地圧		kPa(kg/cm ²)	63(0.64)	59(0.60)
最大掘削力				
新JIS	バケット	kN(kgf)	204(20,800)	
	アーム	kN(kgf)	140(14,300)	
旧JIS	バケット	kN(kgf)	178(18,100)	
	アーム	kN(kgf)	134(13,700)	

<注> ●単位は、国際単位系によるSI単位表示。()内は、従来の単位表示を併記したものです。
●バケット容量と最大掘削力は新JISと旧JISを併記しました。

作業範囲

単位:mm		EX310H-3C/EX310LCH-3C
A. 最大掘削半径		11,100
*B. 最大掘削深さ		7,380
*C. 最大垂直掘削深さ		6,480
*D. 最大掘削高さ		10,220
*E. 最大ダンプ高さ		7,120
F. フロント最小旋回半径		4,450

<注> *の寸法はシューラグ高さを含まず。

■各種重掘削用バケット

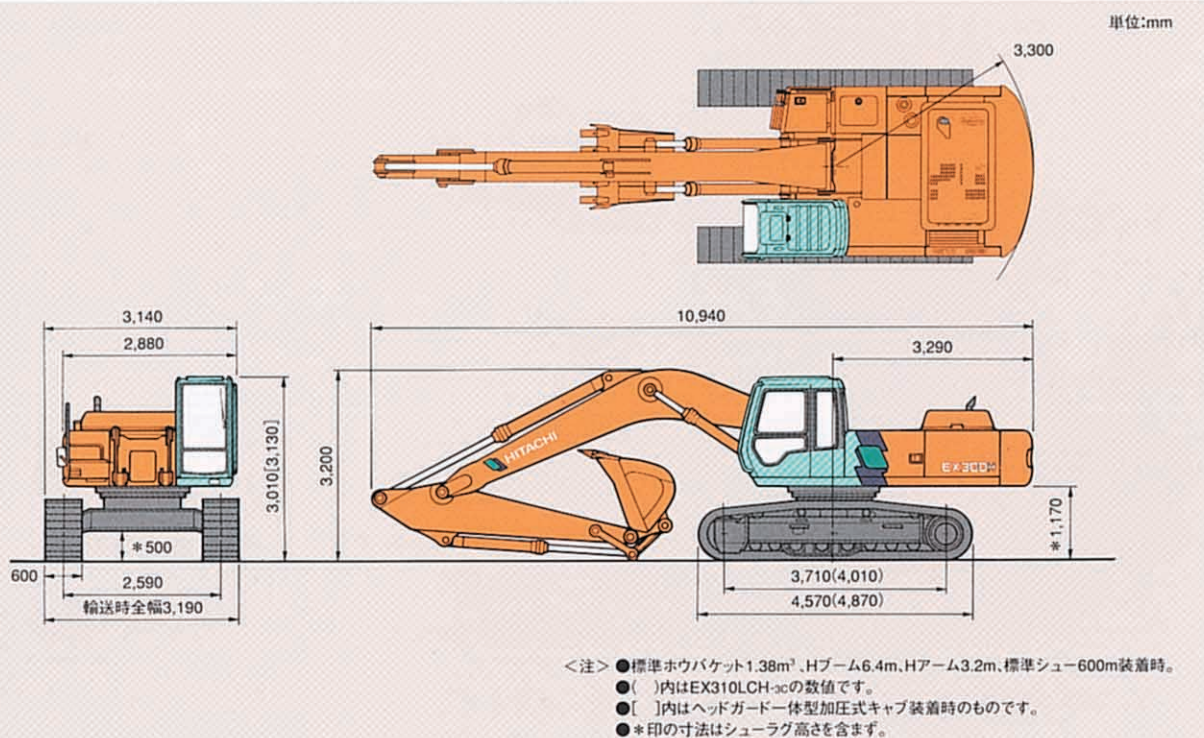
○:一般掘削 ●:岩掘削用

	容量(m³)		幅(mm)		爪数(本)	EX310H-3C/EX310LCH-3C
	山積 新JIS(旧JIS)	平積	サイドカッタ 無し	サイドカッタ 含む		6.4mHブーム 3.2mHアーム
補強バケット	1.40(1.2)	1.0	—	1,410	5	○
岩用バケット	1.15(1.0)	0.86	1,280	—	5	●
標準岩用バケット*1	1.38(1.2)	1.0	—	1,340	5	●
岩用バケット*2	1.38(1.2)	1.0	—	1,340	5	●
リップバケット	0.90(0.8)	0.7	1,010	—	3	●
一本爪リップ	—	—	—	—	1	●

<注>*1:1.38m³岩用バケットは、サイドシュラウド、スーパーコンカル爪付です。

*2:横ピンタイプ

■寸法図



■主要装備品

○:基本装備 ●:オプション —:オプション設定なし

		EX300-3C/EX300LC-3C	EX310H-3C/EX310LCH-3C
本体	標準本体	○	—
	H本体	—	○
フロント バケット 新JIS(旧JIS)	1.15m ³ (1.0m ³)	●	●
	1.40m ³ (1.2m ³)	○	●
	1.62m ³ (1.4m ³)	●	●
	1.86m ³ (1.6m ³)	●	●
	1.40m ³ (1.2m ³)補強バケット	●	●
	1.15m ³ (1.0m ³)岩用	●	●
	1.38m ³ (1.2m ³)岩用(スーパーコニカル爪付)	●	○
	1.38m ³ (1.2m ³)岩用(横ビンタイプ)	●	●
	0.90m ³ (0.8m ³)リッパバケット	●	●
	一本爪リッパ	●	●
	0.6m ³ クラムシェルバケット(センタープル式)	●	—
	1.0m ³ クラムシェルバケット(シェルブッシュ式)	●	—
アーム	2.66mショートアーム	●	—
	3.2m標準アーム	○	—
	4.0mロングアーム	●	—
	3.2mHアーム(ヘコミ防止プレート、角材付)	●	○
	補強アーム(3.2m)上下面	●	—
	補強アーム(4.0m)上下面	●	—
ブーム	6.4m標準ブーム	○	—
	6.4mHブーム	●	○
足回り	600mmグロースシュー	○	○
	800mmグロースシュー	●	●
	600mmフラットシュー	●	●
	910mm三角シュー	●	●
	トラックセンタガード	○	—
	H用トラックセンタガード	●	○
	フルトラックガード	●	●
	トラックアンダーカバー	●	●
アタッチメント配管	NPKブレーカ配管	●	●
	NPKブレーカ・破砕機共用配管	●	●
	オカダ・古河ブレーカ配管	●	●
	オカダ・古河ブレーカ・破砕機共用配管	●	●
	2速切替配管	●	●
	アシスト配管	●	●
上部旋回体	標準旋回体アンダーカバー	○	—
	強化型アンダーカバー	●	○
	標準カウンタウイト	○	●
	0.5t増量カウンタウイト	●	○
	1.0t増量カウンタウイト	●	●

○:基本装備 ●:オプション —:オプション設定なし

		EX300-3C/EX300LC-3C	EX310H-3C/EX310LCH-3C
キャブ/室内装備	標準キャブ	○	○
	ヘッドガード一体型加圧式キャブ	●	●
	ヘッドガード一体型加圧式キャブ用前面ガード	●	●
	ヘッドガード一体型加圧式キャブ用サンバイザ	●	●
	外気導入型エアコン(ホット&クールボックス付)	○	○
	内気循環型エアコン(ホット&クールボックス付)	●	●
	ヒータ	●	●
	時計付オートチューニングAMラジオ	○	○
	時計付オートチューニングAM・FMラジオ	●	●
安全装備品	シートベルト	○	○
	ロックレバー	○	○
	緊急脱出用ハンマ	○	○
	キャブ式ヘッドガード	●	●
	前面ガラス飛散防止フィルム	●	○
	キャブ前面上側ガード	●	●
	キャブ前面下側ガード	●	●
	旋回警報装置 ^{*1}	●	●
	走行警報装置 ^{*1}	●	●
	ホースラブチャバルブ(ブーム用)	●	●
	ホースラブチャバルブ(アーム用)	●	●
その他	オートアイドル	○	○
	セレクトバルブ式マルチレバー ^{*2}	●	●
	燃料給油ポンプ装置	●	●
	ホースリール付電動式グリスガン	●	●
	燃料コントロールレバー	●	●
	燃料ダブルフィルタ	●	●
	エアクリーナダブルエレメント	●	●
	高性能フルフローフィルタ	●	●

<注> *1:旋回警報装置と走行警報装置は同時装着不可

*2:内気循環型エアコン時のみ装着可



安心と信頼をネットワークする
日立のサービスはあなたのホームドクター



東京都千代田区大手町2-6-2(日本ビル)

☎ダイヤルイン (03)3245-6363 CS本部

- 機体質量3トン以上の建設機械の運転は、掘削作業をする時は「車両系建設機械(整地・運搬・積込み用及び掘削用)運転技能講習」、ブレーカ作業をする時は「車両系建設機械(解体用)運転技能講習」の技能講習修了証の交付を受けた人に限られます。
- このカタログに記載した内容は、予告なく変更させていただくことがあります。

資格取得のご相談は株式会社日立建機教習センターの各教習所へ

教習センター	TEL.0489-31-0121	茨城	TEL.0298-28-2370
北海道	TEL.0133-64-6388	京都	TEL.075-957-4944
埼玉	TEL.0489-31-0121	福岡	TEL.092-963-3634

●お問い合わせは……

KR-F(H,H)(HT+H,KR-F)